

## 学会だより

### ◇ GMO 連絡会関連報告

日本育種学会を含む関連学協会のサポートレターによる支援を受け、筑波大学遺伝子実験センターは文部科学省が実施している共同利用・共同研究拠点事業に申請し、平成21年6月25日付けで拠点として認定されました。長戸会長始めご尽力いただいた皆様にお礼申し上げます。本拠点の名称は、「形質転換植物デザイン研究拠点」、設置期間は平成22年4月1日から平成28年3月31日までの6年間です。

形質転換植物デザイン研究拠点の概要は、以下の通りです。

- 植物遺伝子に関する基礎科学の成果利用を促進する「形質転換植物に関する総合研究拠点」として、形質転換植物に関する学術研究を一層推進することを目的とする。
- 形質転換先端技術を活用し、植物重要形質発現に関わる遺伝子群の機能理解に関する共同研究及び実用化候補作物の作出につながる共同研究を行う。
- 最先端の植物遺伝子形質転換技術及び形質転換植物開発研究に関するリスク評価・管理技術・知財管理・データベース等のノウハウについて、研究者コミュニティとの共用化を図るための拠点として機能する。

以上の目的に従って、今後共同利用研究の公募を実施する予定です。本学会会員各位の御支援を御願い致します。

筑波大学遺伝子実験センター長  
江面浩

## 集会の案内

### ◇ 第4回高崎量子応用研究シンポジウム

1. 会議の名称：第4回高崎量子応用研究シンポジウム
2. 日時：平成21年10月8日（木）～9日（金）
3. 場所：高崎シティギャラリー（群馬県高崎市高松町35-1）
4. 参加費：無料
5. 参加申込先：(Fax 又は E-mail にて) 日本原子力研究開発機構高崎量子応用研究所放射線高度利用施設部第4回高崎量子応用研究シンポジウム実行委員会事務局  
Fax: 027-346-9690 又は E-mail: takasaki-shisetsubu@jaea.go.jp

詳細は日本育種学会ホームページをご覧ください。

### ◇ 不二たん白質研究振興財団 公開講演会「大豆のはたらき—これからの食生活を考える—」

「不二たん白質研究振興財団」は、本年も「大豆のはたらき—これからの食生活を考える—」と題して、公開講演会を開催いたします。ふるってご来場ください。

1. 日時：平成21年10月19日（月）午後2時20分～4時20分
2. 場所：ホテルライフォート札幌（〒064-0810 札幌市中央区南10条西1丁目）
3. 講演内容
  - ①「大豆たん白質に秘められた生理活性ペプチド」北海道大学大学院農学研究院教授 原博
  - ②「世界のダイズ生産技術の現状と展望」東北大学大学院農学研究科教授 国分牧衛
4. 運営委員長：東北大学大学院生命科学系研究科教授・財団選考委員 村本光二
5. 申し込み：先着200名。聴講は無料。申し込み締め切り10月9日。Fax または郵送にて。
6. 後援・協賛：(社)日本栄養・食糧学会, (社)日本家政学会, (社)日本農芸化学会, (社)日本栄養士会, (社)日本植物蛋白食品協会, (社)栄養改善普及会, (社)日本食品科学工学会, 日本栄養改善学会, 日本臨床栄養学会, 日本育種学会, 日本調理科学会
7. 問い合わせ・申し込み先：不二たん白質研究振興財団（〒598-8540 大阪府泉佐野市住吉町1番地 不二製油株式会社内 担当：上田, 福田; Tel: 072-463-1764, Fax: 072-463-1756, E-mail: foundation@fujioil.co.jp）

## 研究助成公募の案内

### ◇ 不二たん白質研究振興財団 平成22年度助成課題募集

「不二たん白質研究振興財団」は、たん白質に関する研究およびこれに関連する研究の奨励、援助を行い、もって学術の発展および国民生活の向上に寄与することを目的とします。

- I. 研究者の範囲：大学等およびこれに準じる研究機関に所属する研究者とします。
- II. 特定研究（共同研究）：1. 特定研究の奨励分野。21世紀の高齢社会において、生活習慣に基づく疾病の一次予防の重要性はますます高まっています。人における健康の維持や病気の予防等に期待される大豆たん白質および関連成分の有用性に関する領域の共同研究を対象とします。2. 研究助成額および研究期間：1) 助成額は単年度で500万円までを見当とします。ただし最終的には、研究の具体的内容・規模などに応じ決定され

ます(採択予定件数約1件)。2) 研究期間は平成22年4月より原則として3ヶ年とします。3) 応募ご希望の方は予め事務局にご連絡下さい。

- III. 一般研究: 1. 研究領域と分野: 1) 研究領域は大豆たん白質および関連成分に関する研究を対象とします。2) 研究分野は(イ)食品科学・食品工学・調理科学(遺伝・育種に関する研究, 食品の成分・品質に関する基礎研究, 食品の加工・調理・利用, 非食品工業への利用に関する研究など)(ロ)栄養科学(栄養に関する生化学・生理学など)(ハ)健康・臨床栄養に関する科学(健康の増進, 疾病の予防と治療に関する研究など)3) 萌芽的研究については, 選考の際配慮します。2. 研究助成額および研究期間: 1) 助成額は1件100万円見当を基準とします。ただし最終的には, 研究の具体的内容・規模などに応じ決定されます。(採択予定件数約20件)2) 研究期間は原則として平成22年4月より1ヶ年とします。ただし連続して助成することもあります。
- IV. 若手研究者枠: 1. 研究領域と分野は一般研究と同じ。2. 応募資格。応募申請時に満35歳以下であること。3. 研究助成額および研究期間: 1) 助成額は1件50万円見当を基準とします。ただし最終的には, 研究の具体的内容・規模などに応じ決定されます。(採択予定件数約10件)2) 研究期間は原則として平成22年4月より1ヶ年とします。ただし連続して助成することもあります。
- V. 応募方法: 1. 8月下旬より, <http://www.fujioil.co.jp/daizu/>へ助成研究応募要綱を掲載いたします。2. 応募用紙をダウンロードいただき必要事項をご記入の上, 事務局まで郵送にてご提出下さい。3. 応募受付は平成21年10月1日~11月30日の間といたします。4. 提出された応募書類により, 学識経験者からなる選考委員会による選考を経て採否を決めます。
- VI. 問合せ・申込先: 〒598-8540 大阪府泉佐野市住吉町1番地 不二製油(株)内(財)不二たん白質研究振興財団 事務局 上田, 福田; Tel: 072-463-1764, Fax: 072-463-1756

#### ◇ 財団法人日本科学協会 平成22年度笹川科学研究助成募集

平成22年度笹川科学研究助成について, 平成21年10月1日から10月15日までの間, 募集することとなりましたので, ご案内させていただきます。募集要項・申請書はこちらより: <http://www.jss.or.jp/sasagawa/apply/apply.html>  
問い合わせ先: 財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成係(〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5F) Tel: 03-6229-5365, Fax: 03-6229-5369, E-mail: [ssrg-jss@silver.ocn.ne.jp](mailto:ssrg-jss@silver.ocn.ne.jp), URL: <http://www.jss.or.jp>

#### 談話会だより

##### ◇ 近畿地区

近畿作物・育種研究会

近畿作物・育種研究会第167回例会が, 2009年7月11日(土)に京都大学農学部において開催されました。例会では, 特別講演1題に加え, 以下の10題の一般講演がありました。参加者は約60名であり, 活発な議論が行われました。また, 総会では, 会誌『作物研究(Journal of Crop Research)』を2010年発行の55号からオンライン公開することが決定されました。

一般講演: ①シイタケにおけるリグニン分解酵素群のアイソザイムの検出. 佐伯奈緒美・日野真吾・種坂英次・吉田元信(近大院農) ②ヨシ *Phragmites australis* の系統間に見られる草型とイオン吸収速度の差異. 荒木哲朗・清水頭史・長谷川博(滋賀県大環境科学) ③ダイズ根粒への水供給源の解析: TOF-SIMS クライオ機構による検討. 飯嶋盛雄<sup>1</sup>・渡辺孝政<sup>2</sup>・Sutharsan Somasundaram<sup>3</sup>・吉田智晴<sup>2</sup>・川崎通夫<sup>4</sup>・加藤俊之<sup>2</sup>(1. 近大農, 2. 名大生命農学, 3. スリランカ東大農, 4. 弘大農学生命) ④イネ品種‘小僧の栖’と‘在来No.23’における観賞用形質の遺伝特性. 築瀬雅則・栗田和宏・森川利信(大府大) ⑤イネ紋枯病抵抗性のは場検定法と滋賀県奨励品種の紋枯病抵抗性の検討. 吉田貴宏<sup>1</sup>・中川淳也<sup>2</sup>・日野耕作<sup>2</sup>(1. 滋賀県大津・南部農業農村振興事務所, 2. 滋賀県農業技術振興センター) ⑥イネの粒長QTLの主効果および2QTL間相互作用に関する準同質遺伝子系統を用いた解析. 加藤恒雄(近大生物理工) ⑦Variation of proanthocyanidin content and radical scavenging activities in soybean. Govinda Rizal, Tetsuya Nakazaki, Masayoshi Teraishi, Shanta Karki, Kaori Hirata, Takanori Yoshikawa, Takuji Tsukiyama, Yutaka Okumoto and Takatoshi Tanisaka (Grad. Sch. Agr., Kyoto U.) ⑧ *Rurm1* 遺伝子発現抑制イネにおけるトランスポゾン *mPing* 転移の解析. 中田有美・築山拓司・奥本裕・寺石政義・谷坂隆俊(京大院農) ⑨丹波黒ダイズの開花期及び莢伸長期土壌乾燥程度と結莢との関係. 岡井仁志・尾崎耕二・蘆田哲也(京都府農林水産技術センター) ⑩“丹波黒”ダイズ栽培圃場における土壌水分状態予測技術の開発. 本間香貴<sup>1</sup>・岡井仁志<sup>2</sup>・黒瀬義孝<sup>3</sup>・須藤健一<sup>4</sup>・尾崎耕二<sup>2</sup>・白岩立彦<sup>1</sup>・田中朋之<sup>1</sup>(1. 京大院農, 2. 京都府農林水産技術センター, 3. 近中四農業研究センター, 4. 兵庫県農林水産技術総合センター)

特別講演: 日本の温暖地・暖地におけるコムギ育種の近年の成果と今後の課題. 石川直幸(近畿中国四国農業研究センター)

築山拓司(京都大学大学院農学研究科)

#### 日本育種学会会員異動(2009.4.21 ~ 2009.7.20)

◇ 普通会員入会: 品田博史, 萩原誠司(北海道), 森

山茂治（青森），神崎洋之（岩手），松本直（秋田），佐野智義，森谷真紀子（山形），Do Duc Tuyen，浅水恵理香，Antonio Baltazar，池田千亜紀，川勝恭子，小島久代，朱作峰，坪村美代子，三上一保（茨城），沈受炫（栃木），桑田主税（千葉），山本義治（岐阜），太田智（静岡），山下謙一郎（三重），北村嘉邦，富岡関子（京都），屋良朝紀（福岡），石黒浩二（宮崎）

◇ 学生会員入会：池ヶ谷智仁，石黒聖也，伊藤友輔，井元勇介，荻野篤史，小野克，鏡豊代，時園佳朗，増茂弘規，松本拓真（北海道），上西園崇文，郝茵，本多剛志，松本拓郎，山田かおり（青森），宇田川久史，濁川睦（宮城），粕谷晴之輔，塚本翔，宮脇実桜（茨城），都木健太郎，山田渉（栃木），Heang Dany（千葉），内田祐太，古賀亘，Yin Yin Nwe，中島将貴，中島優典，中村元昭，細木渉，米田淳一，米野浩一，李玫（東京），手塚大貴，濱田和輝，森本優（神奈川），榎真一，林祥希，藤野彬仁（新潟），角谷裕幸，藤原一矢（富山），安部優樹，井沢有希，宇都宮有瑞子，加藤丈晴（福井），蔭山夏美（静岡），金原理恵，松原忍（愛知），荒木哲朗，松本公佑（滋賀），浅野翔，徐銓，寺本翔太，中辻諒一，橋田友子，山野聡一，横尾敬行（京都），小野聖二郎，梶村友則，倉橋夢人，高木俊弥，橘美穂，秦野仁志，八杉有香（兵庫），Phan Thi Phuong Nhi（岡山），Win Khin Thanda（福岡），中島皓子（佐賀），池崎美香，神川典子，末松裕也，田中佑樹（宮崎）

◇ 外国会員入会：Washida Haruhiko（U.S.A.）

◇ 外国団体会員入会：Catholic University Of Daegu Central Library, Wonkwang University Central Library（大韓民国）

#### 住所変更等

◇ 普通会员：池永充伸，伊東栄作，木下雅文，小松邦彦，森下敏和（北海道），五十嵐恵，小林渡，津和本亮（青森），秋山仁美，秋山征夫，清水恒，本田裕，松田長生（岩手），岩井孝尚，千葉文弥，鳥山伸一，早坂浩志，山本昭夫（宮城），菊池彰夫（秋田），五十鈴川寛司，佐藤久実（山形），伊敷弘俊，大瀧直樹，小沢憲二郎，勝田真澄，金丸京平，高井俊之，竹崎あかね，竹久妃奈子，辻耕治，常松浩史，藤郷誠，戸田恭子，中谷誠，林敬子，山田直弘，山田昌彦，山守誠（茨城），中川浩輔（群馬），平野智也（埼玉），小原麻里（千葉），池田良一，大川安信，笠島一郎，梶浦一郎，柴田道夫，藤本優，山内卓樹（東京），小林和幸，中村澄子（新潟），高橋浩司，松本悦夫（長野），齋藤武範，中野道治（静岡），笠原竜四郎，長谷川徹，水上優子（愛知），柿崎智博（三重），吉田貴宏（滋賀），上田実，小西あや子，林健，南山泰宏（京都），齊藤大樹，手塚正教（大阪），石川亮（兵庫），磯田圭哉，漆川直希，武田和義（岡山），尾形武文，山下裕樹（福岡），大木信彦，須田郁夫，松岡誠（熊本），小牧有三（鹿児島），生駒泰基（沖縄）

◇ 学生会員：倉内佑（青森），殿崎薫（宮城），豊澤佳子（秋田），松本晃昌，武藤千秋（京都）